

上下水道部
だより

伊勢の水

NO.8
令和8年8月発行



上下水道部では、市民の皆さんの生活に欠かせない水道・下水道についてよく知っていただくために、上下水道事業からのお知らせや現状、課題、経営状況などをシリーズでお伝えしています。今回は、令和8年度の予算概要などについてお知らせします。



R8.4の役木曳のもよう

よみがえった伝統の川曳き

その年に収穫された初穂を伊勢神宮に奉納する伝統行事「初穂曳き」は、伊勢神宮の遷宮に先立って行われる「御木曳き」行事の形式を継承するもので、陸で行なう「陸曳き」と川で行なう「川曳き」が続けられてきました。しかし、「川曳き」は、その舞台となる五十鈴川の水質の悪化もあり、昭和57年以降途切れ「陸曳き」のみが行われるようになっていましたが、下水道の普及により五十鈴川の水質が改善されたことで平成12年に19年ぶりに「川曳き」が復活しました。

令和8年度

水道事業会計予算

ニ 総 事 業 費 (予 算)



収益的
収支

水道水をお届けするための
収支(税抜)

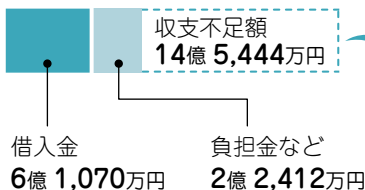
収 入 24億 7,352万円



資本的
収支

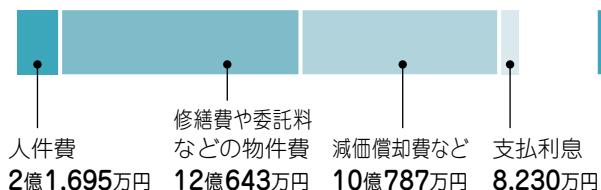
施設をつくるための
収支(税込)

収 入 8億 3,482万円

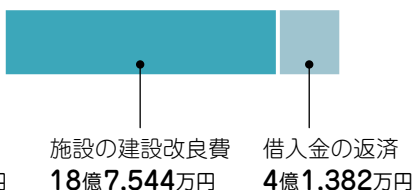


※収支不足額は、減価償却費や前年度の純利益を積み立てた積立金などの内部に留保された資金で補てんします。

支 出 25億 1,355万円



支 出 22億 8,926万円



令和8年度

下水道事業会計予算

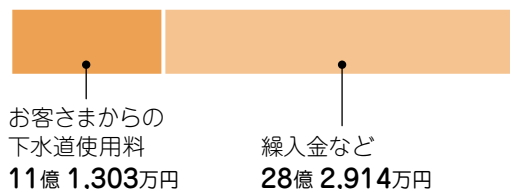
ニ 総 事 業 費 (予 算)



収益的
収支

汚水処理や雨水排除を
行うための収支(税抜)

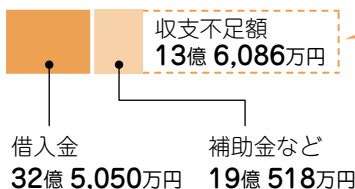
収 入 39億 4,217万円



資本的
収支

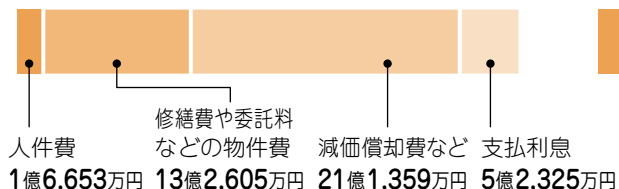
施設をつくるための
収支(税込)

収 入 51億 5,568万円

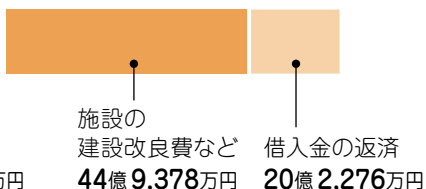


※収支不足額は、減価償却費や前年度の純利益を積み立てた積立金などの内部に留保された資金で補てんします。

支 出 41億 2,942万円

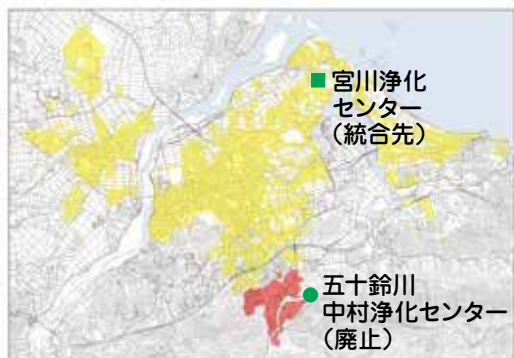


支 出 65億 1,654万円



下水道区域の統合について

下水道区域の統合に伴う五十鈴川中村浄化センターの廃止について



維持管理の最適化及び経費削減のため、現在、五十鈴川中村浄化センターにて下水道の処理を行っている一部地域(赤色区域)を令和8年8月1日より順次宮川浄化センターでの処理区域(黄色区域)へ統合を行います。

それに伴い、五十鈴川中村浄化センター及び水管橋の撤去作業を令和8年度から令和10年度で実施します。

五十鈴川中村浄化センター解体スケジュール

流域下水道へ接続するための下水道管の整備



R8 処理施設内の汚泥処理・消毒清掃



R9 浄化センター及び水管橋の解体開始



R10 浄化センター及び水管橋の解体完了



ドローンから空撮した五十鈴川中村浄化センター

伊勢市下水道事業経営戦略を見直しました

伊勢市の下水道事業の今後の整備・更新を見据えた投資とその財源の見通しを示す「伊勢市下水道事業経営戦略」を見直しました。計画期間は令和8年度から令和17年度までです。詳しい内容については右側のQRコードからご確認ください。



伊勢市
ホームページ

投資計画

①未普及対策事業

第5期事業計画区域及び未事業化区域の整備を進め、令和17年度末の整備完了を目指します。



汚水管の布設状況

②浸水対策事業

勢田川流域等浸水対策実行計画に基づき、桧尻第2排水区の雨水幹線排水路の整備を行います。また、河崎船江、馬瀬川排水区等の浸水対策に取り組めます。

③老朽化対策事業

下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した施設の改築及び設備の更新を行います。また、管路の点検結果に基づき、改築・更新を行います。

④耐震化事業

上下水道耐震化計画等に基づき、福祉避難所などの重要施設に接続する污水管渠の耐震化を行います。雨水ポンプ場については機器の更新に合わせて行います。

⑤広域化・共同化・最適化事業

令和8年度末を目標に五十鈴川中村浄化センターを廃止し、特定環境保全公共下水道を流域下水道に統合します。



伊勢市の上下水道事業あれこれ



今回は、下水道使用料について詳しく説明するって言ってたよね。

令和8年度当初予算
汚水経費約33億円

財源

人件費 1.5億円	赤字 1.6億円
委託料や 修繕費などの 維持管理費 10.8億円	一般会計からの繰入 (不足分の補てん)1.5億円
施設の 減価償却費など 16.2億円	一般会計からの繰入 (国が定めた経費分) 11.6億円
借入金の利息 4.5億円	下水道使用料 11.1億円
	長期前受金 7.2億円

3.1億円

本来
下水道使用料で
賄う部分



そうだね。前回、下水道事業のうち雨水事業はすべて税金で賄っていて、汚水事業は国が決めた経費以外は下水道使用料で賄う必要があるけど伊勢市では足りていないから税金で補っていることは言ったよね。



わかりやすく説明してほしいな。



それでは令和8年度の下水道事業会計当初予算のうち汚水事業を右の図表で解説するね。特別利益と特別損失は除いているよ。



3.1億円も不足しているんだね。



令和8年度は一般会計から1.5億円を補っても1.6億円の赤字だから、下水道会計の本来の仕組みから考えるとあと3.1億円の下水道使用料が必要なんだ。



汚水経費回収率って言葉を聞いたことがあるけど、これに関係するの。



そうだよ。汚水の経費をどれだけ下水道使用料で賄っているかの数値で、下水道経営の考え方からすると本来は100%以上が必要なんだ。伊勢市は右の図から計算すると約78%になるよ。

(計算方法)

下水道使用料 (11.1億円)

(汚水経費33億円－国が定めた一般会計からの繰入11.6億円－長期前受金7.2億円)



汚水経費回収率が約78%で大丈夫なの？



このままでは、ずっと一般会計からの税金に頼り続けることになるから、前のページで説明した「伊勢市下水道経営戦略」の見直しの中で、将来の財政収支を予測したんだ。



将来はどうなるの。



資材費、労務費、金利などの高騰と、下水道施設の増加による減価償却費と借入金利息の増加によって汚水経費がさらに増え、今後、下水道使用料を補う一般会計から税金が今よりもっと必要になるんだ。



これから下水道事業の経営はどうするの？



今年度から下水道使用料の改定の検討を行うことにしました。一般会計から下水道事業会計を補う税金が増え続けるということは一般会計を圧迫し、また、下水道会計の本来の仕組みに当てはまらないものになるからです。それから、国からも下水道整備の補助金の交付を受けるためには、5年に1度下水道使用料改定の検討を行うことが求められているんだ。

改定シミュレーション

どのくらい値上げが必要なの？

下水道事業経営戦略では、①令和10年に改定し5年ごとに見直す、②毎年度利益を確保し、③汚水経費回収率を80%以上、という条件で改定シミュレーションを行いました。

※これはあくまでもシミュレーションであるため、今後、様々なパターンの条件で、下水道使用料改定の検討を行います。

1ヶ月20㎡使用した場合の下水道使用料改定シミュレーション(税抜)

現在	2,300円	851円(37%UP)
R10	3,151円	
R15	3,372円	221円(7%UP)

ご意見・問い合わせ先

伊勢市上下水道部 上下水道総務課 庶務係 〒519-0502 伊勢市小俣町相合 161 番地
☎0596-65-5267 FAX 0596-65-5281 ✉sui-soumu@city.ise.mie.jp